

官報

昭和十一年五月二十六日

第六十九回 貴族院議事速記録第十五號

昭和十一年五月二十五日(月曜日)午後一時
五十四分開議

議事日程 第十五號

昭和十一年五月二十五日
午後一時三十分開議

第一 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(衆議院提出)

第二 不動産融資及損失補償法中改正法律案(衆議院提出)

第三 公立商船學校卒業生ニ對シ特別教育機關設置ノ請願

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマス

(角倉書記官朗讀)

昨二十四日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和十一年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)

昭和十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

ヲ要スル件

昭和十一年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

昭和十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

ヲ要スル件(追第一號)

昭和十一年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

競馬法中改正法律案

航路統制法案

大正十三年法律第二十四號中改正法律案
昭和七年法律第四號中改正法律案

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ
茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ
茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案

右本院提出案及送付候也
昭和十一年五月二十四日

貴族院議長公爵近衛文麿殿 富田幸次郎

衆議院議長 梶原義久

思想犯保護觀察法案

朝鮮事業公債法中改正法律案

同日本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和九年度第一豫備金支出ノ件

昭和九年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和九年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和九年度滿洲事件第一豫備金支出ノ件

昭和九年度第一豫備金支出ノ件

昭和九年度第二豫備金支出ノ件

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛文麿君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、兩案ハ大正十三年法律第二十四號中改正法律案外二件ノ特別委員ニ付託致シマス、是ニテ休憩ヲ致シマス、更ニ延長ノ必要アル場合ニハ、掲示ヲ以テ御報知ニ及ビマス

午後一時五十七分休憩

午後五時十六分開議

○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマス

(角倉書記官朗讀)

本日兩院協議會委員議長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

臺灣拓殖株式會社法案

立報告書

臺灣拓殖株式會社法案

休憩前ニ引續キ

本日衆議院ヨリ左ノ兩院協議會成案ヲ受領セリ

臺灣拓殖株式會社法案

休憩前ニ引續キ

臺灣拓殖株式會社法案兩院協議會成案

卷之三

卷之三

是不之失也。特列會府錄行，以昭臺元祐名

貴陽雨露，這是二千八百萬、二千九百萬年以前的古生物。

ヲ認メルナラバ、必ズヤ是ガ先例トナツテ
是ガラ先キヘ特株會社銀行ノ理事者ノ任合

シテ質問ニ入リマシテ議論ヲ交換致シタノ
デアリマスケレドモ、貴衆兩院ノ委員ノ誠

○子爵渡邊千冬君
〔子爵渡邊千冬君演壇ニ登ル〕
法案ニ關スル兩院協議會トノ審議ノ經過ト結果トヲ御報告申上ゲタイト存ジマス、兩院協議會ハ昨日及今日引續キマシテ數回ニモツテ開會ヲ致シテ、只今報告ガアリマシタ通り、漸ク其ノ成案ヲ得タノデアリマス、臺灣拓殖株式會社ニ對スル衆議院ノ修正案ノ内容ヘ、皆様御承知ノコトデアラウト存ジマスカラ、之ヲ改メテ申上ゲマセヌ、御承知ノ通り其ノ第六條及ビ第十條ニ關シテ居ルノデアリマス、茲ニ於テ兩院協議會ノ衆議院ノ修正案ニ對シマシテ、貴族院ハ之ニ同意致サズシテ、再び之ヲ修正ヲ致シマシテ、總テ之ヲ政府ノ原案通りニ決定ヲ致シタノデアリマス、茲ニ於テ兩院協議會方要求セラレテ、審議ヲ致スコトニナッタノデアリマス、兩院協議會ニ於キマシテハ、先づ慣例ニ依リマシテ、貴族院側ノ修正ノ理由ヲ説明致シタノデアリマス、其ノ修正ノ意見ノ要旨ヲ申上ゲマス、臺灣總督ハ臺灣統治ノ重職ニ當ルノデアリマシテ、貴族院ノ異民族ヲ統治スルノデアリマスカラ、其ノ地位ヲ重ンジ、其ノ威信ヲ高カラシメテ、新附ノ民ヲシテ帝國ノ統治ニ對シ、絶対ノ信賴ト尊敬ヲ拂ハシムルコトが要デアリノデアリマス、此ノ故ニ其ノ旨ガ臺灣總督府官制ニ於テ現レテ居ルノデアリマス、從ツテ主管大臣ト臺灣總督トノ關係ハ、内務大臣ト地方長官トノ關係トハ異ツテ規定セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ衆議院ノ修正ニ於キマシテハ、第六條ニ「社長副社長及理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」トアルノマシテ、之ヲ臺灣總督ノ場合ニ、法律ノ明文ニ之ヲ用ヒマスノハ、臺灣總督ノ特殊ノ地位ニ鑑ミマシテ、其ノ權威ヲ輕カラシムル嫌ガアルカラ、斯ノ如キ文字ヲ用フルコトハ面白クナイ、官制上ニ於キマシテハ拓務大臣ハ臺灣總督ノ監督ヲ致シテ居ルノデ

ヲ認メルナラバ、必ズヤ是ガ先例トナシテ
是カラ先キヘ特殊會社銀行ノ理事者ノ任命
ノ規定ト云フモノヘ、勅令ニ讓ラル、コトニ
ニナルデアラウ、我々ノ政府原案ニ反對
ルノハ、斯カルコトノ宜シクナイト云フリ
トヲ信ズルカラ、之ヲ修正シテ、サウシテ
尙且政府ニ警告ヲ與ヘムト欲スルモノデアリ
ムト云フノガ、衆議院ノ第六條ノ修正意見
ニアリマス、第十條ノ意見ノ要點ハ、此ノ
關係ノ臺灣拓殖株式會社ノ業務ト云フモノハ
獨リ臺灣島内ニ限ラレテ居リマセヌデ、南
支南洋ニ於テモ其ノ業務ヲ營ムコトニナ
テ居ルノデアリマス、臺灣島内ノ事ニノ
度ノ臺灣拓殖株式會社デアレバ、從ツテ其ノ業
務ケレドモ、南支南洋ニモ關係ハ別デアリマ
レ、重要ナル業務ヲ營ム會社デアリマスカラ
此ノ會社ノ性質ハ重大ナルノ一國策會社ト
言ハナケレバナラナイトル、從ツテ其ノ業
務ノ範圍ハ外務省關係ノ業務モアルカモ知
レナイ又事柄ニ依ッテハ陸海軍等ニモ關係
ノアル業務ガアルカモ知レナイ、然ルニ納
テ之ヲ臺灣總督ノ一存ニノミ委シテ置ケ
ト云フノハ如何ナルモノデアラウカ、主事
大臣ハ又是等ノ業務ニ付テハ監督ノ必要ニ
アル場合ガ必ズヤアルデアラウト思フ、政
府ハ其ノ説明ノ中ニ於テ、業務ガ主トシニ
島内ニ關スル場合トカ、主トシテ島外ニ關
スル場合テアルト云フヤウナ説明ヲサレケ
ノデアルガ、業務ト云フモノハ多クノ場合
ニ島内ト島外ト關係スル場合ガ多イデア
ウト思フ、之ヲ又業務ニ付テソレガ島内ニ
業務デアルカ、島外ノ業務デアルカト云
ノコトヲ全ク區別スルコトガ困難デアルカ
ニ其ノ監督系統モ島内ニアル、島内ニ關ス
業務ハ臺灣總督ガ之ヲ監督シ、島外ニ關ス
ル業務ハ臺北本社シテ之ヲ拓務大臣ガ監督ス
ト云フヤウナ考へ方ハ採ルコトノ出來ナ
考へ方デアル、衆議院ニ於テ第一次ノ監督
ヲ臺灣總督ガ行ヒ、第二次ノ監督ヲ主務大臣
ガ爲スト云フ修正ヲ爲シタノハ、貴族院ニ
於テ懸念スルヤウニ階級的ノ意味ヲ用ヒタ
ノデハナインデアル、右申述ベタ通り、總
テノ業務ハ臺灣總督ガ之ヲ監督シテ、主務
大臣ハ唯重大ナル事項ニ付テ監督スルヤウ
ニ、即チ大綱ヲ極メテ監督スルト、サウニ
フノガ衆議院ノ修正ノ趣旨デアリマス、斯
テ云フ説明デアツタノデアリマス、ソレヨ

シテ質問ニ入りリマシテ議論ヲ交換致シタノ
デアリマスケレドモ、貴衆兩院ノ委員ノ述
ブル所ハ兩方トモ熱心ニ此ノ法案ノ成立ス
ルコトヲ希望シテ居ルト云フコトガ明白ニ
ナツタノデアリマス、又先キニ申述べマシタ
貴族院ノ主張スル所ノ理由ハ、決シテ衆議
院ニ於テ之ヲ否定スルモノデナイト云フヨ
トガ明白ニナツタノデアリマス、又衆議院ノ
主張スル所モ首肯スベキ點ガ少クナイト云
フコトヲ貴族院側ニ於テ認ヌト云立ト云
モ明白ニナツタノデアリマス、茲ニテカ協
議會ノ空氣へ懇談デモシタナラバ、何カ茲
ニツコ成案ヲ申ルコトガ可能デアラウト
云フコトニナリマシテ、ソレデ昨日協議會
ハ小委員ヲ設ケルコトニナツタノデアリマ
ス、兩院ヨリ三名宛ノ小委員ヲ選出致シマ
シテ、之ニ兩院ノ議長、副議長ガカリ、昨
日ヨリ今日ニ至ルマデ數回懇談的協議ヲ致
シタノデアリマス、一時ハナカノ議論ガ明
合致シマセヌ爲ニ、果シテ成案ヲ得ルカ
ドウカト云フコトガ懸念サレタノデアリマ
ス、此ノ際申上ガテ置カケレバナラナイ
コトハ、只今問題ニナツテ居リマスノ政府
原案ノ十條ニ對スル政府ノ本當ノ趣旨ハ何
處ニ在ルカト云フコトデアリマス、是ハ
段々小委員會ニ於テ話合ヲ致シテ見マ
スト、政府ノ趣旨トシテ衆議院議員ノ
了解致シテ居リマス所ト、貴族院側ノ委員
ノ了解致シテ居リマス所ト、必スシモビッ
リ合致シテ居ラナイコトヲ發見致シタノデ
アリマス、又貴族院ニ於テ拓務大臣所取べ
ラレマシタ御説明書、速記録ヲ取寄セテ詳
細ニ取調べバノデアリマスガ、十分一同一
満足致スホドノ了解ヲ致スコトガ出來ナカッ
タノデアリマス、ソコデ小委員會ニ於キマ
シテハ改メテ拓務大臣ノ御出席ヲ願ヒマシ
テ、十條ノ政府ノ監督ニ關スル本來ノ趣旨
ハ如何デアルカ、改メテ其ノ御説明ヲ願ツタ
ノデアリマス、其ノ時ニ拓務大臣ヨリハ左
ノ通り御答辯ガアツタノデアリマス、會社ニ
對スル政府ノ監督ハ、其ノ業務ガ島内ニア
ルト島外ニ涉ルトヲ問ハズ臺灣總督之ニ當
リ、大綱ニ付テハ主務大臣モ之ヲ監督スル
ト云フ意味デアリマシテ、此ノ趣旨ヲ施行
勅令ニ規定スル積リデアリマス、斯様ニ由
サレタノデアリマス、此ノ政府ノ御答辯ニ
依リマシテ、十條ノ監督規定ノ精神ハ明瞭

スカニアノ念ノ爲メ改メテ兩院協議會ニモ招
務大臣ノ御出席ヲ求メテ其ノ御意見ヲ承リ
マシタ所、先キニ私ノ申述ヘマシタ通り、小
委員會ニ於ケル御答辯ト少シモ變ラナイ旨
答辯デアリマスノテ、一同満足ヲ致シタノ
デアリマス、此ノ點ハ茲ニ改メテ御報告ヲ
申上ゲテ置キマス、即チ此ノ政府ノ聲明ニ
依リマシテ、臺灣總督ハ臺灣拓殖株式會社
ノ業務ニ付キマシテハ、其ノ島内事項タル
ト、島外トノ關係事項タルトヲ問ハズ、總
テ之ヲ監督スルコトガ明白トナリ、唯特殊
ノ事項ニ付テノミ主務大臣モ監督致スコト
トナツクノデアリマシテ、總督ノ威信ニ關ス
ルコトモ憂慮スル程ノコトヘナイト云フ確
信ヲ、委員一同得クノデ之ニ満足ヲ致シタ
ノデアリマス、以上ヲ以テ兩院協議會ノ審
議ノ結果ノ御報告ヲ終リマス

○議長(公爵近衛文麿君) 討論ノ通告ガゴ
ザイマスカラ發言ヲ許シマス、柴田善三郎君
(柴田善三郎君演壇ニ登ル)

○柴田善三郎君 私ハ今回政府ガ本案ヲ初
メト致シマシテ、或ハ南洋拓殖株式會社法
案ヘハ東北振興會社ニ關する法律案ヲ承
リマスレバ更ニ鮮滿ヲ目標トサレマシテ鮮
滿拓殖株式會社ノ如キモ御設置ニナルヤウ
ニ承リマシテ、今日年々ニ我ガ帝國方輿隆
致シマシテ居ル際ニ於キマシテ、斯クノ如
如キ積極的ノ諸施設ヲ拓殖方面ニ於テダ
ケデモ數多ク現シ下サイマシタコトハ、
深ク敬意ヲ表スル者デアリマス、其ノ施設
タルヤ、或ハ前内閣當時ニ於テ御計畫ニ相
成リマシタモノデアルニ致シマシテモ、
イザ實行ニ移ス爲ニ御發案ニナルノハ現
内閣デアリマス、此ノ意味ニ於テ深イ敬
意ヲ表スルノデアリマス、唯、只今議題ト
ナシテ居リマスル法案ガ、曩ニ貴衆兩院意
見ノ相違ヲ見マシタルコトハ甚ダ殘念ニ存
ジマスケレドモ、兩院ノ委員會等ノ筆記
ニ依ヅテ見マスレバ、主務大臣ガ御就任ノ
尙クアクリマシタコトガ、幾ラカ兩院一時異
付テ或ハ實行ノ御計畫ニ付テ、若シ斯ウ云
フ言葉ヲ用ヒマスルコトヲ御許シヲ得ラレ
マスルナラバ、或ハ不熟トデモ申スベキ情
況デアリマシクコトガ、幾ラカ兩院一時異
付テ或ハ實行ノ御計畫ニ付テ、若シ斯ウ云
ト存ジマスル、私ハ只今此ノ席ニ於キマシ
テハ一議員ト致シマシテ、茲ニ本日協議會ニ
於テ成立致シマシタル案ニ對シテ、喜ンデ

ニ贊意テ表シタリト思ハノテアリマスニ
事細カニソレゾ御説明ノ次第モリマシテ
タカラ、或一部ニ付キマシテハ、私カラ更
ニ言葉ヲ重ネマシテ申上ガル必要モナイカ
モ存ジマセヌ、併シナガラ議員ト致シマシ
テ、議場ノ全體方即チ議員ノ…御話ノヤ
ウナ空氣デアル、心持テアルト云フコトヲ、
或ハ是ハ言葉ガ過ギテ居ルカモ存ジマセヌ
ガ、少ク將來ニ關スルコトデアリマス、先般大
河内議員ノ御質問ニ對シマシテ、委員トシ
テ私ガ御答ヘ申上ダマシタル態度、是ハ今
日ニテモ一個人トシテハソコニ何等ノ變
リハナイ次第デアリマス、併シナガラ兩院
協議會タルヤ、各貴衆兩院何レニ致シマシ
テモ、國人ノ爲ニ、國民ノ爲ニ、外地ノ爲
ニ、其ノ最善デアルト信ズル所ヲ取リマシ
タル次第デアリマスルカラ、固ヨリ其ノ意
見ノ異リマシタル場合ニ於キマシテハ、互
讓安協ノ精神ヲ以テ進マナケレバナリマセ
ヌ、互讓安協ノ本ハ本案ヨリ外ニナイト思
フノデアリマスルカラ、此ノ意味ニ於テ快
ク贊意ヲ表スルノデアリマスルケレドモ、
將來ノ爲ニ幾ラカ又言葉ヲ用ヒサセテ戴キ
タイト存ズルノデアリマス、私ハ外地長官
ノ、獨リ臺灣ト云ハズ、朝鮮ト云ハズ、外
地ニ於キマスル長官ノ地位ノ極メテ重イト
云フコトハ、大臣自ラモ御話ニナッテ居ル
通リデアリマスルシ、又是ハ苟モ外地ノ使
命ノ何デアルカト云フコトヲ承知致シテ居
リマスル者ハ、總テ持ツテ居ル通念デアル
決シテ私一個人ノ信念デハイト考ヘテ居
ルノデアリマスルガ、殊ニ朝鮮ノ如ク、外
灣ノ如ク、數多クノ所謂新附ノ民ヲ持ツテ
居ル所デアリマスルカラシテ、其ノ總督タル
ヤ或ヘ其ノ品位ニ於キマシテ、或ヘ其ノ職
權ニ於テ、重イ立派ナ地位、風格ヲ御具ヘ
ニナツテ居ルト云フコトノ必要ナルヘ勿論
デアリマス、同時ニ又此ノ重要ナル職責ニ
顧ミマシテ、即チ或意味ニ於キマシテハ、
私ハ眞ニ 陛下ノ御心持ヲ體シテ、一人ニシ
テ政務百般ニ臨ムト云フモノハ、外地ニ於
ケル總督以外ニハドナタガアリマスカ、外
ニハナイカトサヘモ思フ程、重要

ナル地位ニアルモノアリテアリテノ地位
様ナル重責ニアリマシテハ、將來益之ヲ進メラテ行
ニ付キマシテハ、將來益之ヲ進メラテ行
カレルトコトガ、即チ統治ヲ全ウスル
所以デアルト考ヘルノデアリマス、先達テ
モ、昨年ノ秋十月一日ノ朝鮮ニ於キマシテ
ハ、施政二十五年ノ式典ガ總督府ノ庭内ニ
於キマシテ、淘ニ盛儀ヲ以テ執り行ハレマ
シタ、其ノ際ニ私ハ故職藤子爵ノ御供ヲ致
シマシテ、數日間京城ニ御一緒ニ御供ヲ致
シタノデアリマシタガ、此ノ式場ニ於テ現
總督ノ宇垣サンノ御態度ト云ヒ、御威望
云ヒ、淘ニ隆々トシタルモノガアラレマシ
テ、流石外地ノ長官ハ斯クノ如キモノデナ
クテハナラナイ、是ダケノ威儀ヲ存シナケドナ
レバナラナイ、是ダケノ德望ヲ具ヘナラレマ
バナラナイト云フコトヲ、場合ガ場合デア
ルダケニ深ク痛致シタノ、アリマシタガ、故齋
宇垣總督ノ御式辭ノ後ニ於キマシテ、故齋
藤子爵ガ壇上ニ立ツテ祝禱ヲ述ベラレマシ
タ、齋藤子爵ノ御話ハ必ずシモ巧ミデハマ
イ、言葉モ多クハナノデアリマスケレドナ
モ、併シ當時幾萬ノ民衆ガ居リマシタ
ガ、朝鮮人モ居リマスルシ、内地人モ居リマ
スルシ、外國人モ居リマシタ、幾萬ノ民衆
ガ一度齋藤子爵ガ壇上ニ立タレマスルヤ、
殆ド唯、一ツノ聲モソコニ起ラナイ、ソヨ
ニ居ラレマシタル幾萬ノ人々ハ、自ラナル
頭ガ下ルト云フ情況デアリマシタ、私ハ壇
上カラ之ヲ見テ居リマシテ、誠ニ涙グマシ
イ光景デアルト云フコトヲ感ジマシタノデ
アリマシタガ、是ハ其ノ後ニ於キマシテ
他ノ皆様方ノ御話ニモ、實ニ斯ノ如キ一
種ノ和やカサト、嚴肅味トヲ兼不備ヘタ
光景ノ如キハ、幾度之ヲ見得ラレルダラ
カト云フ程、諸人ラシテ感激致セセタノデ
アリマシタ、在席ノ外國人ノ如キハ、總
ノ人ガ、唯座ヲ其ノ失禮シテ居ルト云フヨ
トガ、何ダカ如何ニモ失禮シテ居ツタヤウ
イカト云フヤウナコトヲ申シテ居ツタヤウ
ナ次第アリマシタ、是ガ私ハ眞ノ外地ノ
長官デアル、斯ノ如キ情況ガ眞ニ外地ノ長
官ヲ值打アラシムル所ノモノデアルト考ヘ
ケルノデアリマス、是ハ唯、一ツノ式典ニ於
ドモ、何ガ斯様ニ致セセタカト申シマスル
ト、是ハ御在任中ニ於ケル故總督ガ、淘ニ内
鮮一家ノ親シミヲ以テ御臨ミニナツタ統治

十年ノ、多大ナル治績ニ對スル外地人ノ感
謝ノ氣持ノ、自ラナル現レデアルト存ジマ
ス、一面ニハ又故齋藤子爵ノ風格、品位、
德望ト云フモノガ如何ニ高ク、如何ニ立派
デアルカト云フコトヲ現スモノデアルト存
ジマス、先達テ皆様方モ御承知ノ如ク、今
春子爵ガ不幸ニシテ兇彈ニ殪レラレマシタ
ル際ニ、畏クモ聖上陛下ニ於カセラレマ
シテハ誅ヲ賜リマシテ、其ノ御誅ノ中ニ子
爵ニ對サレマシテ「其ノ貌ハ厚重其ノ人ハ沈
毅ト云フヤウナ御言葉カゴザイマス、「出テ
テ總督ノ大任ヲ荷ヒ重ネテ統治ノ重責ヲ負
フ政ハ勞來ヲ敷キ民ハ恩徳ニ服ス」ト云フ文
字ガゴザイマス、尙進ミマシテハ「遂ニ内
臣タリ心ヲ輔導ニ盡ス其ノ勤勞ヲ多トシ深
ク倚頼スル所アリシニ」ト云フヤウナ辱イ
御言葉サヘモ賜テ居ルノデアリマス、斯様
ナ風格、品位ヲ御具ヘニナッタ方デアレバ
コソ、斯様ナ誅ヲ賜ダコトヌデアリマ
ガ、如何ニ殊更ニ私ハ例ヲ朝鮮ニ取ッテ、如何
ニ外地統治ノ重任ニアラレル總督ノ地位ガ
重大ナルモノデアルカト云フコトヲ申上ゲ
タリトノ光景ヲ御誅ノ如ク、洵ニピッ
合ヒマスルヤウナ感シガ致スヌデアリマ
ス、是ハ唯臺灣ニ付テ例ヲ申上ゲマスル
コトハ、其ノ遠キ方ニ致セ、或ハ近キ方ニ
致セ、或ハ失禮ナコトモアルカト存ジマス
ガ故ニ、殊更ニ私ハ例ヲ朝鮮ニ取ッテ、如何
ニ外地統治ノ重任ニアラレル總督ノ地位ガ
重大ナルモノデアルカト云フコトヲ申上ゲ
タノニ過ギマセヌ、先達テノ修正案ニ於
テ、矢張リ先回ノ決議ノ場合ニ於キマシテ
除キ去リマシタ社長等ノ選任ニ付テ、勅令
ノ定ムル所ニ依テ主務大臣ノ認可ヲ經テ
之ヲ定ムト云フ規定ガアルノデアリマス、
認可ト云フコトハ僅カニ二ツノ文字デアリ
マスルケレドモ、只今モ申上ゲマスル如
ク、又深ク主務大臣ノ御考ニナッテ居リマ
スル如ク、斯様ナ重責ヲ御持チニナル總督
デアリマスルカラ、只今モ委員長カラ御話
モアリマシタル如ク、此ノ言葉ハ所謂妥協
互譲ノ精神ニテ茲ニ之ヲ認メマシタモノルト
云フヤウナコトニナリマシテ、之ヲ前例ト
セラレルト云フヤウナコトナクシテ、即チ
今回ノ此ノ新シイ立法ガ出來マシタ爲ニ、即チ
デアリマスケレドモ、之ヲ濫用セラレルト
即チ斯様ナル例ガ將來ニ二タビ三タビ回ラ
重不マシテ、此ノ議會ガ此ノ際ニ於テ一ツ
ノ新惡例ヲ作タモノデアルト云フヤウナ

譏ヲ受ケルコトナカラシメラレムコトヲ、此ノ内閣ハ切ニ希望致ス次第アリマス、此ノ内閣ハ所謂庶政一新ト云フコトヲ、最モ重大ナル政策トシテ御唱へニナツテ居リ、是ハ諸方面ニ瓦リマシテ、之ヲ實行ナサルニ付キマシテハ、非常ナル御覺悟ガナケレバナラナイ、御骨ガ折レルコトデアリマセウケレドモ、時ニ鑑ミ、洵ニ必要ナコトデアリマスカラ、如何ナル困難ヲ排シテモ之ヲ實行シテ戴カケレバナリマセ、若シ斯ウ云フ際ニ於テ、即チ一新ヲ要スベキ此ノ際ニ於テ、從來モ持タナカツ所ノ惡立法例ヲ、帝國議會ガ作ツタ云フヤウナコトニ至ラシメラレマシタ場合ニ於テ、洵ニ全員ノ本意デナ所ニアルト存ジマス、ハ實ニ民地長官ノ如キハ、理想カラ申シマスナラバ、庶民一新ノ此ノ際ニ於テ、或ハ官制制度等ニモ變革ヲ加ヘラレマスルナラバ、現在ノ拓務大臣ノ監督ト云フコトヲ廢セラレマシテ、朝鮮總督ノ如ク或意味ニ於テハ天皇ニ直屬シタ重要ナル、一層重要な地位ニ變ラシメテ戴カレムコトヲ理想トシテ考へテ居る程デアリマスガ故ニ、殊ニ此ノ希望ヲ深く致シマス次第アリマス固ヨリドウ致シマシテモ拓務大臣ハ、所謂外地行政ニ對スル輔弼ノ重責ヲ有ツテ居ラレル方アリマスカラ、決シテ私ハ之ヲ輕ンズルト云フ意味ハゴザイマセヌ、謂ハバ外地總督ト拓務大臣トノ關係ハ、或場合ニ於テハ親子トモ見ラレマセウ、或場合ニ於テハ兄弟トモ見ラレマセウ、若シ親子ト見ラレ、兄弟ト見ラレマスナラバ、矢張リ其處ノ間ニ深イ、外地ノ者ニ權限ヲ與ヘラレマシタ所デ、法制ハドウナリマシテモ、之ニ深イ相談相手トモ見ラレマセウ、或場合ニ於テハ心持サヘ豊カデアラレマスナラバ、只今申上ゲタヤウニ致シマシタ所デ、一層植民地ノ治續ガ擧リコソ致セ、減耗致スコトハナイト存ズルノデアリマス、監督權ノ擴大ハ動モスレバノデアリマス、上ニ監督者ノアリマスガ爲ニ是正セラレルコトモアリマスケレド云フコトモ考ヘレバアリ得ルコトデアルノミナラズ、實際ノ事例ニ微シマシテ、大體直接責任ヲ有ツテ居リマスモノハ比較的正シモノデアリマス、上ニ監督者ノアリマスガ爲ニ是正セラレルコトモアリマスケレドモ、或ハ監督權ノ濫用ノ爲ニ幾多ノ情弊ヲ生ズルト云フ理由モ、内地ト云ハズ外地ト

云ハズ、從來決シテ少ナカラヌ事例ガアル
ノデゴザイマス、ソレ故ニ重ネ申上ゲ
スルガ、監督權ノ濫用ト云フコトニ付キマ
シテハ、深ク戒メラレテ之ニ善處セラレム
コトヲ願上ゲマス次第デアリマス、更ニ又
本會社ハ或ハ南支或ハ南洋ニ迄事業ヲ及ボ
スノデアラレマシテ、是モ躍進日本ノ現状
ニ照シテ、更ニ一層ノ飛躍ヲ致シマスル爲
ニ、共鳴コソ致セ決シテ躊躇致ス者デハナ
イノデアリマスケレドモ、唯進ムトスル
時ニハ、又即チ退イテ既往ヲ顧ミテ、既往
ニ過チガアツタナラバ、過チテ再ビシナイト
云フダケノ用意ト云フモノハ、是非トモ必要
デアルト存ジマス、私深ク此ノ方面ニ付キ
マシテハ知識ヲ持チマセヌ者デアリマスケ
レドモ、既往ニ於テ或ハ臺灣銀行ガ失敗シ、
或ハ華南銀行ガ失敗シ、而モ是等ガ南洋、
臺灣島内殊ニ島外ニ放資ラシテ、其ノ爲ニ
巨億ノ損失ヲ蒙ラシタ云フ事例ヘ、
餘リニ近イモノデアリマス、ソレ故ニ此ノ
法案ノ成立致シマシテ、此ノ事ヲ實行ニ移
ス爲ニ御如才ヒアリマスマイケレドモ、前
者ノ轍ヲ再びセラレルト云フコトナク、深
ク御戒心ノ下ニ御實行アラムコトヲ、切
願ヒマス、次第デアリマス、勿論斯クハ申シ
マシテモ、所謂國策遂行ノ會社デアリマス
ルカラ、或ハ現在ニ於テハ損失ヲ致スカモ
知レヌ、將來ノ捨石ノ爲ニハ必要デアルト
云フヤウナ場合モアリマセウ、斯様ナコト
マデモ私彼此申スベキコトハナイ、或ハ之
ヲ覺悟シテ御進ミニナラナケレバナラナイ
場合モゴザイマセウケレドモ、何ト申シマ
シテモ、此ノ會社ハ臺灣ニ於キマス一千五
百萬圓ノ土地ヲ出資テ致スモノデゴザイマス、
是ハ國庫ノ土地デハゴザイマセウケレドモ、
其ノ所在カラ申シマシテ、即チ外地ニアル
ノデゴザイマスカラ、臺灣ノ民ガ申スナラ
バ、自分持ノ所有物デアルト云フヤウナ心持
マデモ持テハ居ラナイカト思フノデアリマ
ス、殊ニ更ニ承ムスレバ、民間ノデアリ
百萬圓、差當リ四百萬圓ノ拂込、是ハ臺灣
ニ於ケル製糖會社其他ノ大資本家ノ資本ニ
俟タレル御計畫モアルヤニ傳承致シテ居リ
マス、其ノ事實ナリヤ否ヤハ私承知致シマ
セヌガ、若シ是ガ事實デアラレマス場合ニ
周到ナル注意ヲ以テ計畫ヲシテ、而シテ不
幸ニシテ失敗致シタト云フコトナラ、又諦

メヤウモアリマス、併シナガラ事ハ必要デ
アリマシテモ、臺灣ノ資源、臺灣ノ資本ト云
云フモノヲ外地ニ持運ビマシテ、而シテ其
ノ結果前例ノ如キ損失、失敗ヲ重ネルト云
フコトデアリマシタナラバ、是ハ由々シキ
大事デアルト存ジマスガ故ニ、深クヽ戒
心ヲ重ネラレマシテ、而シテ慎重ナル調査ノ
下ニ、然レドモ決シテ消極退要ニ流レマスコ
トナシニ、必ズノ成功コトヲ私希望致ス次第
極的ニ御進ミアラムコトヲ私希望致ス次第
デアリマスレバ高橋相ノ御在世
ノ際ニ於キマシテ、最初臺灣總督府ガ三千
萬圓ノ會社トシテ計畫ヲシテ、高橋サンハ
財界ノ方面ニ於キマシテモ、亦財政ノ方面
ニ於キマシテモ、殆ド比較スベキ者ナキ天
下ノ權威デアリマス、深キ經驗ヲ御持チニ
ナシテ居リマス此ノ高橋サンヘ、私承リマス
ル所ニ依リマスト、外地殊ニ南支、南洋ノ
コトハ、既往非常ナ失敗ノ事例ガアルノデ
アルカラシテ、或ハ一應主力ヲ臺灣ニ注イ
デ、サウシテ基礎ノ確立ヲ俟テ他日ニ讓ル
ト云フコトモ遲クハアルマイ、故ニ五百萬
圓ダケ資本ヲ減ジテ二千五百萬圓ニシテハ
ドウカト云フコトデ、總督府當局者ハ一時
斯様ナ計畫モ立テダト云フコトニ傳承致シ
テ居リマス、是ハ私必ズシモ其ノ御説ガ良
イカ悪イカハ分ラヌ、モウ高橋サンノ御在
世中ト其ノ後ニ於テハ時勢ガ既ニ變化ヲ致
シテ居ル、之ニ善處シヨウト云フ新内閣ノ
思召デアリマセウ、併シナガラ斯様ナ豊カ
ル所ニ依リマスル次第アリマス、ノミ
ナ經驗ヲ持チ、斯様ナ深イ見識ヲ持タレタ
前藏相ノ御言葉デアリマスルナラバ、御實
行ニ當リマシテハ此ノ點モ御考慮ノ中ニ
御賢慮ノ中ニ加ヘラレムコトハエ無ニ
ナラズ此ト存ジマスル所次第アリマス、ノミ
ナラズ此ト存ジマスル所次第アリマス、
ルト云フコトデアリマス、サウシテ損失ガ無イト
云フ場合ニ於テハ、百餘萬圓ノ收入ト云フ
モノハ寢テ居テモ、仕事ヲセズニモ得ラレ
ルト云フコトデアリマスルカラ、豊カナ收
入ノアルト云フコトハ結構ナ如クニシテ、

<p>而シテ或ハ之ニ利權ノ附キ纏フト云フ心配 モアルノデアリマス、或ハ貧乏ナ場合ニ於 テコソ當局ガ粉骨碎身、勵ミラ深クシテ、 努力ラシテ、會社ヲ成功シヨウト云フ力味 ガアルケレドモ、敢テモウ初メカラシテ勞 セズシテ、而シテ收入ガアルト云フ場合ニ 於キマシテハ、努力ガ稀薄ニナルコトモ人 情トシテ有リ勝チノ場合ガ想像シ得フレ ノデアリマス、御如才ハアリマスマイケレ ドモ、是等ノ點モ御賢慮アラムコトヲ希望 致ス次第デアリマス、利權ノ伴ヒマスルニ 付キマシテハ、當局ニ於カレマシテ所謂從 來痛クモナイ腹ヲ探ラレマシタ事例モ少ク ナイノデアリマス、今日斯様ナ重要ナ時期 ニ於キマシテ、斯様ナ有益ナ事情ヲ執リ行 ハレル際ニ於キマシテ、噂デモ、誤解デモ、 斯様ナコトガ若シ、浮説ヲ生ムト云フヤウ ナコトガ發シマシタラバ、實ニ事業遂行 上ノ障碍ニモナルコトデアリマスカラ、重 ニ重ネ御留意ヲ私切望致シテ已ミマセヌ次 第デアリマス、之ヲ要スルニ私、總督ノ地 位ハ誠ニ重要ナモノデアル、又此ノ事業ニ 付キマシテハ、御警告ラ戴イタ方モア リ、或ハ又此ノ事業ニ付キマシテハ、利權 モ伴フト云フヤウナコトデアリマスカラ、 ドウ云フ點ニ付キマシテモ御細心ノ中ニモ 御細心ノ注意ヲ加ヘラレマシテ、立派ニ圓 滿ニ、而シテ立派ニ此事績ヲ遠カラズシテ圓 擧ゲラレル日ノ到來セムコトヲ希望致シマ シテ、茲ニ私贊意ヲ表スル次第デアリマス (拍手スル者アリ)</p> <p>○議長(公爵近衛文麿君) 他ニ御發言ガナ ケレバ採決ヲ致シマス、協議會ノ成案ニ同 意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 休憩前ニ引續キ ス (角倉書記官朗讀)</p> <p>本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ 不穏文書等取締法案</p> <p>シタ政府提出ニ係ル不穏文書等取締法案ヲ</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 午後九時四分開議 (縫員起立)</p>
<p>○議長(公爵近衛文麿君) 全會一致ト認メ マス、午後九時マデ休憩致シマス</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 報告ヲ致サセマ</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 休憩前ニ引續キ ス</p>
<p>○議長(公爵近衛文麿君) 休憩前ニ引續キ ス</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 不穏文書等取締法案</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 不穏文書等取締法案</p>
<p>○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認 メマス、内務大臣</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 不穏文書等取締法案</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 不穏文書等取締法案</p>
<p>此際議事日程ニ追加シテ、第一讀會ヲ開ク コトニ御異議ゴザイマセヌカ</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認 メマス、内務大臣</p>	<p>○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認 メマス、内務大臣</p>

尤モ此ノ差止メ及差押ヘ、發行ノ責任者ニ付テ眞實ノ記載又ハ成規ノ納本ヲ致スマ、デノ之ニ依リマシテ不懲文書ト認メラル、モノヲ早期ニ發見シテ、其文書ト認メラル、モノスルヲ得ルノ效果ハ極メテナルノガナリマス、アル信ズル次第アリマス、以上申上げマシタ所ガ本法案ノ内容ノ大體デアリマス、要スルニ本法案ノ眼目ト致シマス所ハ、惡性ノ目的ヲ以テ、又ハ秘密手段ヲ以テスルガ如キ、罪質最モ憎ムベキ不穩文書等ノ取締ヲ嚴重ニセムトスルモノデアリマシテ、此ノ趣旨ヲ明白ニ致ス爲ニ、出版法、新聞紙法等ノ如キ、一般言論ノ取締法トハ獨立シテ、特別法ヲ制定スルコト致シタノデゴザイマス、之ニ對シマシテハ衆議院ニ於キマシテ、次ノ如キ修正ガゴザイマシタ、即取締法案ト修正案トハ、不穩文書臨時第二條ノ文書圖畫ノ場合ニ限ル旨ヲ明示スルノ修正ヲセラレタノデアリマス、其ノ趣旨ハ、本法案ノ非常時立法タルノ性質ヲ明カニシテ、且取締ノ對象ヲ祕密出版ニ限ラムトスルモノデアリマシテ、本案ノ主眼トスル所謂怪文書取締ノ目的ハ、大體達成シ得ルモノト考ヘラルノデアリマス、且政府ノ時局ニ鑑ム、速力ニ本法ノ成立スルコトヲ希望致シマスノデ、兩院ノ成立意見一致致シマシタ上ハ、御決議ヲ尊重致シタイトイマス、以上ノ次第ゴザイマスガ、御審議ノ上御際誠ニ恐縮デゴザイマス、御賛同アラムコトヲ御願ヒ致シマス○議長(公爵近衛文麿君)質疑通告ガゴザイマスカラ之ヲ許シマス、男爵菊池武夫君(男爵菊池武夫君演壇ニ登ル)○男爵菊池武夫君本案ニ付キマシテ、本員ハ若干ノ質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、豫メ申上ゲテ置キマスルガ、私ハ本案ハ此ノ時局ニ際シマシテ、最モ善後處置ヲ宜クナサレル爲ニ御發布ハサラウト爲サルモノデ、シテ居ル者デゴザイマス、ソレハ外デハシテ、イマセヌ、一番最初ニ此ノ案ヲ戴キマシテ、是ハ總動員ノ法案ト併セマシテ、現

將來ニ臨マレル、自ラ頗ル重キ責任ヲ取テ
御立チニナル御考ノ法案デアラウ、斯ウ云
フ風ニ最初解釋致シタノデゴザイマシタ
此ノ事ハサウ云フ御意味デナイヤウニ今日
ハソニセラマシテ、所謂怪文書ト稱スル
部分ニ於テ、ドウヤラ此ノ衆議院ト修正案
ニ依ッテ達成セラル、ニ依ッテ、之ニ同意セ
ラル、ト云フヤウナコトハ、想像ガ間違ツテ居タ
ラシテ、私ノ最初期待政シマシタ庶政一新
ノ爲ノ、根本的決意ノ片鱗ガ先ツ現レ来タ
ト云フヤウナコトハ、想像ガ間違ツテ居タ
ノデゴザイマセウカ、サウ云フ御志ハ最初
カラ毛頭ナカッタノデアラウカト云フ
ガ第一疑ハレルノデゴザイマス、ドウゾ私
ノ疑ノ所ニハ、御懇切ナル御垂教ヲ給リタ
イト思フノデゴザイマス、倘テ其ノ御志デ
御持チニナル此ノ剝刃ノ如キ武器ハ結構デ
ハゴザイマスガ、聊ガ片手落チノ所ガ斯様
ナ法規ハ若シ御使ヒ過ギニナリマシタナラ
バ、非常ナル結果ニ陥ルノデアラウ、ドウ
モ眼ヲ欹テルト云有様ニナリ
日デサヘモ左様ニ居ル者モ少カラ
折柄、永久ニ此ノ権利ヲ奪去ルガ如キモノ
ニアツテハ是ハ非常ナ重大ナコトデ、何レ
ノ政府モ鬼角濫用シ勝チニナルノデハナカ
ラウカ、又一體斯様ナ流言蜚語、或ハ怪文
書ガ横行致シマシテ參リマシタコトハ、隨
分久シイコトデゴザイマス、昨今デハゴザ
イマセヌ、實ニ我官界ノ綱紀弛廢モ久シ
イコトデゴザイマスルガ、全體大正以來處
士横議ト云フヤウナ有様デ、數年前來「クー
データー」ノ意識ノ盛デアッタコトハ雜談ニモ
現レテ居リマシタ、又現實閣内ニ居ラレル
方デモ、此ノ意識ヲ有ツテ居ラレタコトハ、
軍部ヲ通ジテ明示實デゴザイマシタ
中ニハ文書ヲ以テ堂々ト閲員ヨリ「クーデ
ターノ」推稱スルガ如キモノ雜談ニ載セラ
レタ場合モゴザイマシタ、又書籍所謂學問
ト云フ方面カラモ、武力即法ナリト云フヤウナ
筆法ヲ以テ、人民ヲ唆リマシタ例モ現實ニアル
デゴザイマス、斯クマデ流言蜚語、横議ト云フ
ヤウナモノガ起リマシタ所以ノモノハ、太
體ニ於テ綱紀ノ弛廢ニ因スルモノデアル
是マデ文官懲戒委員ト云フヤウナ委員會ノ
御開催ニ依ツテ官紀ヲ維持セラレムトナサ
マイシタ實例カドノ位ゴザイマスデゴザイ
セウカ、陸海軍ニ於キマシテハ相當聯隊

調査ト云フト惡ウゴザイマスガ、行ケバ見モスル聞キモスルシマスカラ、現實ニ能ク分リマス、是等デモ私ハ非常ニイケナインコトデアラウ、斯様ナコトハ司法トシテアルマジキコト、苟モ司法ト云フモノハ天下ニ公開サレマシテ、何人モ疑ハヌ明々白々タルモノガ出ルコトニ於テ人心ガ信賴ヲ致シマス、法ガ蔽ハレテ司法ガ暗イト云フコトニミライマスラベ、ドウシタチテ處士横行ヲ致スト云フコトハ不穩文書怪文書ガ横行ヲ致シテ云フコトハ免レヌコトデアル、此ノ法ヲ御溝メニナル所ノドウシテモ法ト云フモノヨリ少クモ此ノ次ノ議會ニハ御考ヘ下サイマシテ、又是等ノ法モドウモ我々ガ見マシテモ餘リ立法ノ技術トシテハ感心致サヌヤウナ氣ノスル點モゴザイマス、ドウゾ斯様ナ意味ニ於キマシテ、完全ニ一ツ御一新ニ、和衷協同致シマシテ進ミタイ、一致ノ和諧ヲ失フコトナキヤウニ私モ全力ヲ擧ゲテ御奉公申シタリ思テ居ルノゴザイマス、只今申上ゲマシタ點ニテ御垂教乃至御答辯ヲ賜ラムコトヲ切望致シマス

アント考ヘタノデアリマス、最初政府ノ提
出致シマシタ案ニ付キマシテ、衆議院ニ於
テ相當ノ訂正ヲ加へラレタノデアリマスガ、
大體ニ於キマシテ、當初政府ノ期待シテ居
リマスルダケノ取締ハ出來ヨウカト有ジテ居
ルノデアリマス、此ノ取締ヲ實行シテ參
リマス上ニ於キマシテハ、菊池男爵ノ仰セ
ノ通りニ、ドウシテコトガ此ノ適用中心ニ
ル指導精神ト云フコトガ必要デアルコトハ
勿論デアルノデアリマス、ソレニ付キマシ
テハ、私此ノ壇上ヨリ施政ノ方針ヲ述べマ
シタ際ニモ申述ベマシタ通りニ、我が鞏固
ナル國體觀念ト云フモノガ政治ノ基調トナ
クベキモノデアル、而シテ陛下ノ覺
召ニ依シテ國民全般ガ各、其ノ所ヲ得テ幸福
ナル生活ヲシテ行クト云フ、此ノ國民生活
ノ安定ノ如キ又重要ナル國務デアルト思
テ居ルノデアリマス、是等ノ目的ヲ達シマ
ハ施設シテ参ラナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、其ノ施設ハ有ラユル機會ニ、陛下ノ御
示シニモ相成ツテ居リマスヤウニ、正シイ
又中庸ヲ得テ行クト云フ此ノ精神ガ、私ハ
政治ヲ行ツテ参リマス上ニ最モ重要ナル觀
念デアルト思ツテ居ルノデアリマス、從ヒマ
シテ其ノ精神ニ依リマシテ、此ノ法案ヲ實
際適用致シマス上ニ於テモ、ソレゾノ官僚
憲ニ於キマシテ、十分慎重ナル注意ヲ以テ
參ラニケレバナラヌト思フノデアリマス、
法ノ適用如何ニ依リマシテハ、時ニ或ハ豫期
セザル弊害ヲ起スコトモアリ得ルコトデア
リマス、斯カル取締法規ノ如キモノハ、其ノ
點ニ付キマシテハ最モ深甚ナル注意ヲ拂ツテ
適用シテ参ラナケレバナラヌト思フノデア
リマス、尙御尋ニナリマシタ點ニ付キマシ
テハ、關係大臣ヨリモ御説明致スコトニ一致
シマシテ、私ハ以上御答辯ヲ申上ガマス
○議長(公爵近衛文麿君)　内務大臣
(國務大臣朝憲之輔君)　菊池男爵ノ御質
問ニ對シマシテ、唯本法ガ成立シマシタ後
ニナリマシタ、大體總理大臣カラ御答
用場所ニ付キマシテ申上ゲて置キタ
イト思ヒマス、斯様な刑罰ニ關スル法規ノ
運用ハ、格別注意ヲ致シマシテ運用致シマ
セ又ト、往々ニシテ國民ニ大變ナ迷惑ヲ掛
ケル場合ガアルノデアリマス、此ノ點ニ付
キマシテハ關係ノ各當局トモ十分ニ協力致
シマシテ、萬遺算ナイヤウニ努力致シタ

ト存ジテ居リマス、尙御尋ノ中ニ、今日迄ノ怪文書デ貯テ其ノ出所ハ明瞭ニナシテ居ルカラト云フ御尋方ゴザイマシタ、御推察モ下サルコトデアラウト存ジマスガ、誠ニ此ノ出所ヲハツキリ致シマスルコトハ難事中ノ難事デアリマス、取締ノ上ニ於キマシテ最モ苦心スルモノノ一ツデアルノデアリマス、ソレデ手ニ入リマシタ所謂怪書ニ付キマシテ、全部ノ出所ガ明瞭ニナチテ居ルト申上シテ兼ネルコトハ誠ニ遺憾デゴザイマス、併シ此ノ法案ノ成立ニ伴ヒ、又昨日御協賛ヲ仰ギマシタ豫算中ニモ、此ノ方面ニ使用致シマスル豫算モ組込ンデゴザイマスノデ、法ノ成立、豫算ノ成立、之ヲ契機ト致シマスシテ關係當局ハ極力斯カル惡質ナル犯罪ノ豫防ニ十分ノ取締ヲ厲行致ス所存デゴザイマスノデ、此ノ點御了承願シテ置キマス○男爵菊池武夫君モウ御答辯ハゴザイマセヌカ○議長公爵近衛文麿君御答辯ガナイヤウデゴザイマス○男爵菊池武夫君此ノ席カラ伺ヒマス、官紀振肅ニ關シマスル御答辯ヘドナタカラモ伺トガ出来ナカタト思ヒマス、是ガ最モ重大デアル、ドウシテモ、モウ少シ壯ノ今日ノ墮落セル官界トデモ申シタイ程ハ、實ハ感ジヲ有ツテ見テ居リマスル一般ノ空氣ト思ヒマスルガ、之ヲドウシテモモウ一段御振興ニナシテ、或ハ或所ニ權力ヲ與ヘルト云フヤウナコトニデモシテ、何トカ途ガナケレバ、ハ唯此ノ法ダケデヘ決シテ改マラヌト痛切ニ感ジテ居リマス、從ヒマシテ此ノ法ノ處及ブ所ニ私ノ憂ヒヲ持ツ所以ノモノハ此處ニアルノデアリマス、殊ニ總動員ノ祕密保護法ト相俟ツテ惡用サレル段ニナリマスルト、就中「マークレ附ケタ官吏ニ、私ハ偉大ナル心配ヲ以テ、アノ法文ヲ讀ンダ者ノ一人ナンデゴザイマス、折角ノ、是テヘドウシテモヤラナケレバナラヌ、今日修正ノ案ニ付テ政府ハ、大體此ノ今度ノ事件及ブ所ニ關係アル遡ツタ事實ニ關シテ、彼此モウ言ハサヌト云フコトガ、此ノ法ノ目的ゴザイマスノデハゴザイマスマイカ、サウナリマスレバ、ソコ等ノ所ヲハツキリ、世ノ中ヲ鮮明ニ渡テ賢明ニヤル、而シテ臨時法デアスル、斯ウ云フ風ニ、是ガ參リマスヤウナ風ニ政府ノ爲サル所ガ、隅マデ徹底シテ鮮明ニ参ルト云フヤウナ氣分ガ、ドウシテモ一

新ノ際ニ充實致シマセヌデハ、相變ラズ
望ヲ有シテ參リマシタ幾十パーセントカ
ヲ減殺シタ感ヲ以テ、私ハ今夕御答辯ヲ伺ッ
テ居ルモノデゴザイマス

(國務大臣廣田弘毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(廣田弘毅君) 重ネテ菊池男爵
ノ御質問ニ御答へ致シマスガ、今日ノ如キ
時勢ニ於キマシテハ、社會ノ各方面ニ相當
ノ變調ガアルノデアリマスガ、此ノ國務ニ
從事致シテ居リマスル文武官員ノ間にテ
ニ紀律ヲ嚴重シ、各方面ノ若シ弊害ガ
アルト致シマスレバ、之ガ専門ニ最大ノ努力ガ
ヲ盡ヌベキコトハ、政府當然ノ任務デアルト
思フナデアリマス、從ヒマシテ般各ノ法律ノ
適用等ニ付キマシテモ、十分ニソレ等ノ點ニ
注意ヲ致シ、警告ヲ與ヘマシテ、各國家ノ職
務ニ從事致シテ居リマス者ノ指導ニ萬全ヲ
期シテ参りタイト存ズル次第アリマス

○男爵菊池武夫君 御答辯ニ付キマシテハ、
聊カ率直ナラザルヲ感ジツ、是デ質問ヲ
打切りマス

○議長(公爵近衛文麿君) 三上參次君

(三上參次君演壇ニ登ル)

○三上參次君 時間モ甚ダ切迫致シテ居リ
マスルカラ、極メテ要領タケラ御質問申シ
タイト思ヒマス、先刻來御話ノアリマシタ
所ノ怪文書ノ能ク飛ブト云フコトニ付テ
ハ、私モ非常ニ憂慮致シク一人デアリマ
スル、殊ニ二月二十六日ノ事件ノ前日ニ、
十五日附ヲ以て配達セラレ、事件當日ノ午
後ヲ以テ私ノ手ニ入ダ怪文書ノ如キベ
モ怪カラズモノト存ジタ次第アリマ
ス、ソレカ此ノ案ガ衆議院ニ付議セラレ
シタ當初カラ、頗ル關心ヲ以テ注意致シ
テ居タクノデアリマスルガ、或ハ會議ノ模様
ヲ傳聞致シ、若シクハ新聞紙ナドヲ見マシ
テ、時々大ナル憂慮致シタコトデアルノ
デアリマス、併シナガラ今日拜見シマシタ
原案ニ依リマスルト云フト、大分字句ノ前
後竝ニ修正ナドモアルヤウデアリマスルケ
レドモ、先ヅ之は心ケノ姿ニ成立シタ
云於テコトハ或ハ大分反対修正ノ御意見モアッ
タサウデアリマスルガ、當局者竝ニ原案辯
護ノ方々が大イニ奮闘セラレント云フコト
ニ付テ、私ハ其ノ勞力ヲ大イニ感謝スル一
人デゴザイマス、併シナガラ何故ニ原案ノ
一條ニ「人心ヲ惑亂シ、軍秩ヲ紊亂シ」云々ト
アル所ノ最モ肝要ナル點ヲ御修正ニナリマス

シテ、當局者ガソレニ同意アリテ、ヘレタクシテ云フコトニ付テ、私ハチヨット伺ヒタイノアリマス、ソレハ事、文句ノ末ニ涉リ、ナルガ如クシテ、キナモノガアルト思フノデアリマス、初メ或ハ大イニ此ノ第一條ニ同意アリト云ケレド、コトヲ聞イテ心配シテ居シタノデアリマスガ、兎ニ角修正ニナリマシテ、「軍秩ヲ紊亂シ、財界ヲ攪亂シ其ノ他人心ヲ惑亂スル」ト云フ風ニ直シテ居リマスルガ、一讀致シマスルト候デモナイヤウデアリマスルケレド、此ノ修正セラレルニ至タ經緯ヲ承リ、又常識デ以テ文章上ノ判断ヲ致シマスト。私ハソコニ大イニ疑惑ヲ生ズルノデアリマス、此ノ人心ヲ惑亂スルト云フコトヲ一番終ヒヘ、而モ最初ニアシタノヲ終ヒ引下ゲテ、而モ其ノ他ト云フコトハ、申ス迄モナク最モ其ノ正較的ニ輕イ意味ニセラレタト云フコトハ、非常ナル私ハ甚ダ感服致サヌノデアリマシテ、其ノ點ヲ伺ヒタクノデアリマス、人心ヲ惑亂スルト云フコトハ、申ス迄モナク最モ其ノ正較的ニ輕イ意味ニセラレタト云フコトハ、非常ナル脱線ヲシタ場合ニ用フル文字デアリマシテ、昔カラ邪道人ヲ惑ハストカ、妖言人ヲ惑ハストカ、或ハ亂賊、亂臣、亂軍、ノ惑亂ト云フ文字ノ附イテ居ル所ノモノハ、極メテ世ノ御同感ノコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ人心ヲ惑亂スルト云フコトヲ極ムノ惑亂、其ノ外惑ト、亂ト云フ字ガ一字若シクハ二字附イテ居ル所ノモノハ、極メテ世ノ耳ニ快ク響カスト云フコトハ、ドナタデ世ノ道心ヲ害シ、世ノ治安ヲ害スルモノノデアリマス、テ、昔ノ刑法ニ於テハ、或ハ之ニ極刑ヲサヘシテ居ルノデアリマス、如何ニモ是等ノ惑亂ト云フ文字ノ附イテ居ル言葉ガ、人ノ耳ニ快ク響カスト云フコトハ、ドナタデ廣イ意味デアルカラト云フノデ、其ノ他アルカラト云フ、ソレハ甚ダ困惑タコトアル、素ヨリ軍秩ヲ紊亂スルト云フコトハ、此ノ上モナイ不祥ナ事デアリマス、軍部ニ於テ之ヲ

思フノデアリマスガ、私ノ見ル所ニ依リマ
スルト云フト、人心ヲ、惑亂スルト云フ
コトハ、ヨリ一層大ナルコトデアラウ
ト思フノデアリマス、今ヤ政府ニ於テ
ハ全力ヲ盡シテ國體ヲ明徴ニスルト云フ
コトニ御心配ニナツテ居ルノデアリマス、
我ガ貴族院ニ於テモ皆ソレニ御同感ノ
コトデアルト思フノデアリマス、若シモ此
ノ國體觀念ヲ明徴ニスルト云フヤウナコト
ガ妨ゲラレ、之ニ反對スル所ノ學說ノ外
議論ガ世ノ中ニ起リマシクナラバ、ソレ
即チ人心ヲ惑亂スルモノデアル、此ノ修正
ニ於テ假令少シデモ政府ガ修正説ニ同意セ
ラルニ於テ、人心ヲ惑亂スルト云フ文字
ヲ、比較的ニ輕タ視ラレタト云フコトデア
リマスナラバ、何故ニ一方ニ於テ國體ノ觀
念ヲ明徴ニスルト云フコトヲ大ニ力瘤ヲ
入レラレルノデアリマスカ、私ハソコニ或
矛盾ガアリハシナイカト思フノデアリマス、
若シモ是ガ委員會ニ付セラル、場合ニ於キ
マシテハ、私ハ文章ヲ元ノ通りニセラル、
コトヲ希望スルノデアリマスガ、先ツ以テ
質疑ト致シテ、當局者ガ何故ニ斯クノ如キ
修正ニ御同意ヲ爲サッタカト云フコトヲ承
リタイノデアリマス、之ヲ明カニ致シマセ
スト云フト、天下ノ人ガはヨリ事柄ノ生ズ
ルニ當ツテ疑惑ヲ深クシ、或は間隙ニ生ズ
者ガ出ナイトモラスト私ハ憤レルノデアル
リマス、デ私ハ年來正シキ信仰ト云フモノ
人々ノ持ツベキモノデアル、願ハクハ之
ヲ或程度ニ於テ教育ノ中マデ識込ミタイト
思フ者デアリマスケレドモ、苟モ迷信邪教
等ノ人心ヲ惑亂スルモノガアリマシクナラ
バ、嚴重ニ之ヲ取締ラレムコトヲ希望スル
者デアリマシテ、先日ノ此ノ演壇ニ於キマ
シテ述べタ中ニモ、其ノ事ハ希望致シテ置
イタノデアリマス、私ハソレト同ジ立場ニ
於テ何故ニ人心ヲ惑亂スルト云フ文句ヲ、
普通ノ考ノ上デ文章上輕ク視ラレル所ヘ引
下ダラレタノ上デ文章上輕ク視ラレル所ヘ引
リマス、斯ク伺フトハ申スモノノ、私ハ軍
秩ヲ紊亂スルコトヲ輕ク視テ決シテ申スノ
デハゴザイマセヌ、之ヲ第一ニ置カル、ト
云フ意味ヲ十分尊重致シマス、是ガ第一ノ
疑問、第二ノ疑問ハ臨時法ト致サレタ政
ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス、昔カラ怪
文書ノ或事件ノ後ニ飛ブト云フコトハ、實
ニ古今東西ノ歴史ニ多イコトデアリマス、

思フノデアリマスガ、私ノ見ル所ニ依リマ
スルト云フト、人心ヲ、惑亂スルト云フ
コトハ、ヨリ一層大ナルコトデアラウ
ト思フノデアリマス、今ヤ政府ニ於テ
ハ全力ヲ盡シテ國體ヲ明徴ニスルト云フ
コトニ御心配ニナツテ居ルノデアリマス、
我ガ貴族院ニ於テモ皆ソレニ御同感ノ
コトデアルト思フノデアリマス、若シモ此
ノ國體觀念ヲ明徴ニスルト云フヤウナコト
ガ妨ゲラレ、之ニ反對スル所ノ學說ノ外
議論ガ世ノ中ニ起リマシクナラバ、ソレ
即チ人心ヲ惑亂スルモノデアル、此ノ修正
ニ於テ假令少シデモ政府ガ修正説ニ同意セ
ラルニ於テ、人心ヲ惑亂スルト云フ文字
ヲ、比較的ニ輕タ視ラレタト云フコトデア
リマスナラバ、何故ニ一方ニ於テ國體ノ觀
念ヲ明徴ニスルト云フコトヲ大ニ力瘤ヲ
入レラレルノデアリマスカ、私ハソコニ或
矛盾ガアリハシナイカト思フノデアリマス、
若シモ是ガ委員會ニ付セラル、場合ニ於キ
マシテハ、私ハ文章ヲ元ノ通りニセラル、
コトヲ希望スルノデアリマスガ、先ツ以テ
質疑ト致シテ、當局者ガ何故ニ斯クノ如キ
修正ニ御同意ヲ爲サッタカト云フコトヲ承
リタイノデアリマス、之ヲ明カニ致シマセ
スト云フト、天下ノ人ガはヨリ事柄ノ生ズ
ルニ當ツテ疑惑ヲ深クシ、或は間隙ニ生ズ
者ガ出ナイトモラスト私ハ憤レルノデアル
リマス、デ私ハ年來正シキ信仰ト云フモノ
人々ノ持ツベキモノデアル、願ハクハ之
ヲ或程度ニ於テ教育ノ中マデ識込ミタイト
思フ者デアリマスケレドモ、苟モ迷信邪教
等ノ人心ヲ惑亂スルモノガアリマシクナラ
バ、嚴重ニ之ヲ取締ラレムコトヲ希望スル
者デアリマシテ、先日ノ此ノ演壇ニ於キマ
シテ述べタ中ニモ、其ノ事ハ希望致シテ置
イタノデアリマス、私ハソレト同ジ立場ニ
於テ何故ニ人心ヲ惑亂スルト云フ文句ヲ、
普通ノ考ノ上デ文章上輕ク視ラレル所ヘ引
下ダラレタノ上デ文章上輕ク視ラレル所ヘ引
リマス、斯ク伺フトハ申スモノノ、私ハ軍
秩ヲ紊亂スルコトヲ輕ク視テ決シテ申スノ
デハゴザイマセヌ、之ヲ第一ニ置カル、ト
云フ意味ヲ十分尊重致シマス、是ガ第一ノ
疑問、第二ノ疑問ハ臨時法ト致サレタ政
ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス、昔カラ怪
文書ノ或事件ノ後ニ飛ブト云フコトハ、實
ニ古今東西ノ歴史ニ多イコトデアリマス、

○議長(公爵近衛文麿君)	○議長(公爵西大路吉光君)
御異議ナシト呼フ者アリ	賛成
メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀ヲ致セマス (瀬古書記官朗讀)	ニ御異議ゴザイマセヌカ
不穩文書等取締法案特別委員	○議長(公爵近衛文麿君) 池田子爵ノ動議
侯爵井上 三郎君 侯爵松平 康昌君	侯爵西大路吉光君 贊成
伯爵二荒 芳徳君 子爵秋元	ニ御異議ゴザイマセヌカ
子爵伊東 一郎丸君 子爵織田 信恒君	○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
松井 喜七郎君 若林竹治君	メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀ヲ致セマス
塚本 均平君 男爵井川村田 畑裕輔君	不穩文書等取締法案特別委員
男爵松岡 山岡萬之助君 男爵大森 佳一君	○議長(公爵近衛文麿君) 本日議員從二位
岩田 宙造君 男爵大森 佳一君	勳二等伯爵柳澤保惠君薨去セラレマシタ、
山岡萬之助君 山隈康君 絲原武太郎君	誠ニ哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、就キマシテ
塚本 均平君 男爵井川村田 畑裕輔君	ハ弔詞ヲ贈リタイト存ジマス、御異議ハゴ
岩田 宙造君 男爵大森 佳一君	ザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕	○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認
メマス、暫時休憩ヲ致シマス	メマス、暫時休憩ヲ致シマス
午後十時三分休憩	午後十時四十分開議
貴族院議事速記録第十三號正誤	○議長(公爵近衛文麿君) 開會致シマス、
正誤	御報告ヲ致スコトガゴザイマス、休憩中、
正誤	内閣總理大臣ヨリ、本月二十六日マデ一日
正誤	間 帝國議會期延長ヲ命ゼラル、旨詔書
正誤	ヲ傳達セラレマシタ、本日ノ議事ハ是ニテ
正誤	延會致シマス、明日ハ午後一時三十分ヨリ
正誤	開會致シマス、日程ハ決定次第、彙報ヲ以
正誤	テ御通知ニ及ビマス
正誤	午後十時四十二分散會
貴族院議事速記録第十三號正誤	○議長(公爵近衛文麿君) 開會致シマス、
正誤	御報告ヲ致スコトガゴザイマス、休憩中、
正誤	内閣總理大臣ヨリ、本月二十六日マデ一日
正誤	間 帝國議會期延長ヲ命ゼラル、旨詔書
正誤	ヲ傳達セラレマシタ、本日ノ議事ハ是ニテ
正誤	延會致シマス、明日ハ午後一時三十分ヨリ
正誤	開會致シマス、日程ハ決定次第、彙報ヲ以
正誤	テ御通知ニ及ビマス
正誤	午後十時四十二分散會